

## ライフサイクルで環境負荷を低減。

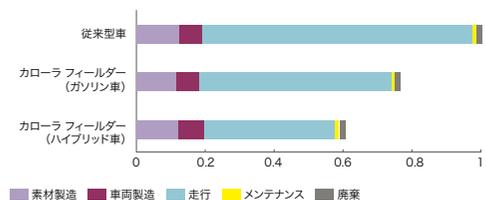
(LCA(ライフサイクルアセスメント))\*の実施) 材料、部品、車両製造および走行、メンテナンス、廃棄の各段階で環境影響をトータル評価するLCAを実施しています。その結果、CO<sub>2</sub>、NOxなどの排出量を従来に比べ低減しています。

■自動車の生涯走行距離10万km(10年)を、JC08モードで走行した場合の結果です。

■トヨタではLCAにより相対的な環境メリットを確認することを目的としているため、実施結果は指数で示しています。

\* LCA(Life Cycle Assessment, 資源採取～廃棄・リサイクルまでの各段階で、クルマが環境に与える要因を定量化し、総合評価する手法で、ISO14040シリーズで国際標準化されています。

■LCA実施結果 CO<sub>2</sub>二酸化炭素(Carbon Dioxide)



トヨタが乗用車を対象に実施しているLCAの手法は、ドイツの第三者認証機関テュフ ラインランドによるISO14040/14044規格に基づく審査・認証を受けました。

## トヨタ コロラ フィールダー 環境仕様

車両仕様	車両型式	6AA-NKE165G	5BA-NRE161G	3BA-NZE161G	3BA-NZE164G	
環境情報	燃料消費率	WLTC** 燃料消費率*1 (国土交通省審査値) km/L	27.8	19.8	17.2	15.6
		CO <sub>2</sub> 排出量 g/km	84	117	135	149
	JC08モード 燃料消費率 km/L	32.2	22.0	—	—	
		CO <sub>2</sub> 排出量 g/km	72	106	—	—
主要燃費改善対策	参考	「2020年度燃費基準*2」をクリアしています。		—		
排出ガス	認定レベルまたは適合規制(国土交通省)	平成30年基準排出ガス 75%低減レベル*3	平成30年基準排出ガス 50%低減レベル*3	平成30年排出ガス規制適合*3		
	CO	1.15				
	NMHC	0.025	0.05	0.10		
車外騒音	加速/定常/近接	dB	74/70/76	72/70/85	74/70/89	
	冷媒の種類(GWP値*4)/使用量	9	HFC-134a (1,430*5) / 420	HFC-134a(1,430*5)/370		
環境負荷物質削減	鉛	自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下*6)				
	水銀	自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止*7)				
	カドミウム	自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)				
	六価クロム	自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)				
車室内VOC	自工会自主目標達成(厚生労働省室内濃度指針値*8以下)					
リサイクル関係	リサイクルし易い材料を使用した部品	TSOP*9	バックドア、フロント&リヤバンパー、センターコンソールボックス、インストルメントパネル			
	樹脂、ゴム部品への材料表示	TPO*10	サイド&カーテンシールドエアバッグ			
	リサイクル材の使用	再生綿フェルト	あり			
			ダッシュサイレンサー、テッキサイドトリム			

\*1. 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。  
\*2. 省エネ法に基づき定められている燃費目標基準。 \*3. WLTCモード走行。 \*4. GWP: Global Warming Potential(地球温暖化係数) \*5. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間適合台数の加重平均値)にすることを求められております。  
\*6. 1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。 \*7. 交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスプレイランプ、室内蛍光灯)を除く。 \*8. 厚生労働省が2002年1月に定めた指定物質で自動車に関する物質の指針値。 \*9. TSOP: Toyota Super Olefin Polymer \*10. TPO: Thermo Plastic Olefin